

科目名	宗教と人間（釈尊と現代） A					単位	2.0
担当教員	福田 琢						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	3213

●授業のテーマ

釈尊の生涯と思想

●到達目標

釈尊の生涯とその意義を学ぶ。

●学習内容(授業概要)

釈尊（ゴータマ・ブッダ）の生涯と思想を学ぶ。釈尊はいつ頃どのように生まれ、何を考え、どのようにして「仏教」の開祖となったのか。この講義では、かれが「めざめた人」（ブッダ）となるまでの前半生のプロセスを中心に、釈尊の思想形成の過程とその現代的意義について考えてみたい。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 釈尊とは
2. 釈尊の方法
3. 仏教は「宗教」か？
4. 古代インド
5. 少年時代
6. 出家 ——樹下観耕と四門出遊——
7. 苦行・断食・瞑想
8. 菩提樹の下で（成道）
9. 縁起
10. 梵天勧請
11. 四諦と中道（初転法輪）
12. 仏弟子群像
13. 最後の旅に出る（ヴァイシャーリーにて）
14. 入滅（パリニルヴァーナ）
15. 大乘仏教へ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習よりも事後の復習が重要。講義のなかで扱った項目に関して、ノートを整理し、内容を確認しておくこと。不明な点については随時質問を受けつける。

●成績評価方法・基準

受講態度 2 割、講義中に随時おこなうレポートの内容 8 割で評価する。レポートは複数回実施するので注意すること。

●テキスト（必携）

講義中にプリントを配布する。

●参考文献／その他

必要があれば授業中に指示する。

●履修上の注意

講義中に数回、レポート提出の課題を与え、その成果を成績評価の主な基準とするので注意すること